

北の大地の水族館、仰天真冬の飼育作業！実施のお知らせ

1.凍った水槽の氷下潜水掃除
2.イトウ水槽でニジマス釣り

2019年2月6日(水)午前10時から(2時間程度予定)

冬の北の大地の水族館ならではの驚きの飼育作業、凍った四季水槽での「氷下潜水掃除」はすでに冬の風物詩にもなりましたが、昨年よりイトウ水槽での冬の特別展示のための飼育スタッフによる「水槽でニジマス釣り」を行っています。

一般の水族館にはないこの二つの作業を、ご取材の便宜を考え同日に実施することになりましたのでご連絡します。

●日時：2019年2月6日(水)午前10時から(2時間程度予定)

1. 凍った四季水槽の氷下潜水掃除 (★新人スタッフが初挑戦)

世界唯一の展示である結氷した四季水槽にて、飼育員が氷の下に潜り水温わずか1.5度の極寒の中アクリルの汚れを落とす作業を行います(※1)。冬の日目玉展示である「凍る水槽」は現在水面が完全に結氷しており、太陽光などによってアクリルに付くコケなどの汚れを落とすことができないため冬季の間3週に一回程度潜水作業によって掃除をしています(※2)。

★当日は、昨年入社の新入男性スタッフ(神奈川県育ち)が潜水の予定です。

※1.極寒のため潜水時間はおよそ30分、氷は事前のこぎりで切り出して穴を開けておきます。

※2.結氷期間以外は週に2回水を落として清掃作業をしています。



四季水槽の氷を切って潜水穴を開けます



氷を割らないように掃除。30分が限度。

イトウ水槽でニジマス釣り詳細と
当日のスケジュールは次ページ

2. イトウ水槽でニジマス釣り

当館のメイン展示物の一つであるイトウ水槽で、イトウから逃れた餌のニジマスを釣り上げる作業です。イトウに生きたニジマスを与える「いただきますライブ」ですが、2月～5月上旬にかけて低温と繁殖期のためイトウは餌をほぼ食べなくなります(※3)。

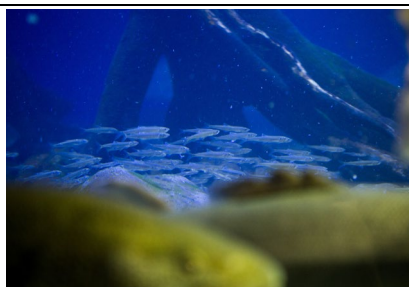
そこでいただきますライブにおいてイトウから逃れたニジマスを釣り上げて全て回収し、代わりにワカサギの群れを展示する展示替えを実施します(※4)。今回はその中でニジマスを釣り上げる作業をご案内します。

※3.繁殖期に向けて体の中を変化させるためで自然界でもほぼ同じような傾向が見られます。

※4.ニジマスを入れたままワカサギを入れるとニジマスがワカサギを全て食べてしまいます。イトウが稀にワカサギの群れに襲いかかりそれを避けるために集団で動く美しいワカサギを見ることができます。



いただきますライブから逃れたニジマス。イトウはもう食べない。



冬期用の展示、湖のイトウとワカサギの群れ



ワカサギを食べるニジマスを、スタッフが釣りで捕獲

★尚、目的のワカサギの群れ展示は、ニジマス釣り上げ作業の直後に行います。

■当日のスケジュール

目安

| 時間 | 作業 | 補足 |
|-------------|----------|-----------------|
| 10:00～10:15 | 氷の切り出し作業 | 水の中に入るための穴をあけます |
| 10:15～10:45 | 氷下潜水掃除 | 水中と展示室二人一組で行います |
| 11:00～12:00 | ニジマス釣り | 釣果次第で前後します |
| 12:00～12:15 | ワカサギ搬入 | 釣果次第で前後します |

[お問い合わせ先]

北の大地の水族館（北海道北見市留辺蘂町松山1-4）

TEL 0157-45-2223

担当 山内創 (080-8291-9439)

E-mail aq-onneyu@bz04.plala.or.jp